

2024年度

東大・国立選抜【iP class(東大専科)】試験

# 国語

時間50分、100点満点

## 受験上の注意

1. 解答用紙には、受験番号・氏名を記入すること。
2. 解答は、解答用紙の所定のところに記入すること。  
記入方法を誤ると得点にならない。
3. 試験終了の合図とともに、解答用紙・問題用紙とも回収される。

郁文館高等学校

□ 次の文章を読んで、後の各問に答えよ。

まず、睡眠について考えてみます。睡眠の特徴は、数時間持続することです。ヒトでは成人の場合およそ6〜8時間寝て、起きている時間は14〜18時間というのが標準的です。寝ている間、\*1ノンレム睡眠とレム睡眠が数十分毎に繰り返され、睡眠自体は6〜8時間連続して起こります。

ところが、実験によく使用されているマウス、ラット、ネコなど他の哺乳類では、睡眠状態と覚醒状態はそれほど長くは持続せず、数分から数十分間隔で寝たり起きたりを繰り返しています。

たとえばマウスは夜行性と言われますが、夜ずっと起きて活動を続けるわけではなく、また昼ずっと寝続けるということもありません。寝たり起きたりを頻繁に繰り返しているのですが、夜間ではそのうち覚醒している時間の長さが長く、合計した時間は起きている時間が長いというわけです。昼はその逆になります。数分ごとに脳活動の状態が変わっていくのです。

マウスに限らず夜行性と言われている動物は睡眠・覚醒を繰り返す頻度が多く、合計すると昼に寝ている時間が夜より多く、夜に覚醒している時間が昼より多い、ということとです。こうした睡眠を「多相性睡眠」と呼びます。

これに対し、ヒトのような数時間以上連続した睡眠は「単相性睡眠」と呼びます。睡眠の持続性が種により大きく異なる理由はわかっていませんが、次にお話しする霊長類の実験は、\*2視交叉上核がこの持続性に大きく関与していることをうかがわせます。

霊長類であるサル(昼行性のリスザル)でも脳波の計測が行われ、ヒトと同じく昼間は数時間以上起き続け、夜間は数時間以上寝続けるようだということがわかりました。そして1993年には、この起き続けたり寝続けたりするリスザルの生体リズムは体内時計の指令によることが報告されました。

体内時計の\*3中枢がわかったのは1972年です。この年、ラットによる実験で、脳の視交叉上核を破壊すると、行動(活動量)や副腎皮質ホルモン分泌の生体リズムが完全に消失することが示されました。これは脳の様々な箇所を電気で微小破壊する実験によるもので、同じ結果が米国の2つの研究室から報告されました。すなわち、(A)体内時計の中枢は視交叉上核であることが発見されたのです。

その後脳波の計測も行われました。視交叉上核を破壊することで、レム睡眠・ノンレム睡眠の睡眠状態や覚醒状態が変化するのか注目されました。たしかに、睡眠・覚醒の比率が昼夜ともに50%となってリズムはなくなりましたが、総睡眠時間や総覚醒時間は、視交叉上核の破壊前後では変わらないことがわかりました。しかも、睡眠の重要な性質に、眠らず長く起き続けるとその後の睡眠が長時間睡眠となること(反跳睡眠)がありますが、視交叉上核を破壊したラットでもその反跳睡眠は認められたのです。

したがって視交叉上核の体内時計は、(B)概日リズムのタイミング(特に朝のタイミング)を

あ

と結論づけられました。

ところがです。1993年、米・スタンフォード大学のデール・エドガーとウィリアム

・デメントが昼行性霊長類であるリスザルの視交叉上核を破壊して脳波を連続で測定すると、とんでもない現象を発見しました。

先にお話ししたように、リスザルはヒトと同じく、一旦起きると長く覚醒状態が続き、夜は一旦寝ると数時間以上眠ります。リスザルで視交叉上核を破壊すると、睡眠・覚醒のリズムが消失することがわかりました。ここまではラットの実験と同じ結果でした。ところが面白いことに、視交叉上核を破壊したリスザルでは覚醒が始まって数分ごとにすぐ寝てしまう現象が見られたのです。

日周リズムがなくなったのは予測通りですが、寝続けること、起き続けることができなくなってしまう、一日中、うつらうつらしていたのです。さらに、視交叉上核を破壊すると約30%も覚醒時間が減って、覚醒と睡眠の比率が全く同じとなったのです(図1)。

視交叉上核の活動は昼間で高いことが知られています。これは、昼行性動物のリスザルでは、昼間は、視交叉上核が脳内の覚醒中枢にシグナルを送り続けていることで、覚醒を発現・維持していることを示しています。また夜間は、正常には眠り続けるのですが、視交叉上核を壊すと睡眠も「ダンゾク」的になり、しょっちゅう起きるようになりました。

夜の視交叉上核からの情報が、睡眠中枢の機能維持に影響を与えているのかもしれない。②このことは何を示しているのでしょうか？ 視交叉上核が生体リズムの中枢であることは、マウスやラットなどの夜行性の齧歯類でも研究できますが、昼行性のヒトの睡眠や覚醒状態を維持するための神経「キコウ」を探るには、③霊長類の視交叉上核の研究が欠かすことができないことを示しています。ヒトを含む霊長類では、生体リズム中枢である視交叉上核が、朝の目覚めから夕刻までの覚醒度の高さに、重要な「ウコウケン」をしているのです。

(岡村均『時計遺伝子 からだの中の「時間」の正体』より)

[注] \*1 ノンレム睡眠とレム睡眠——急速眼球運動(rapid eye movement, REM)の有無で区分した睡眠中の状態の名称。

\*2 視交叉上核——脳の中で左右一対に存在する神経細胞の集まり。

\*3 中枢——中心となる大切なところ。

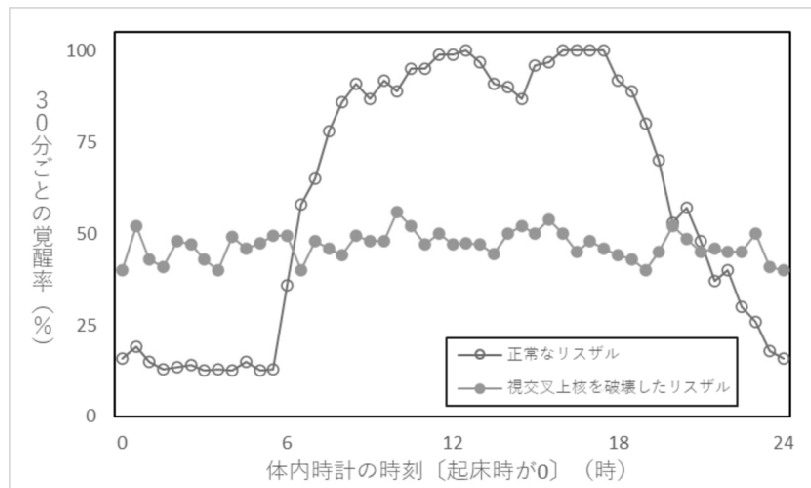
問一 —— 線部(ア)～(ウ)のカタカナを漢字で答えよ。

問二 空欄 **あ** に当てはまる言葉として最も適切なものを、次のア～エから選び、記号で答えよ。

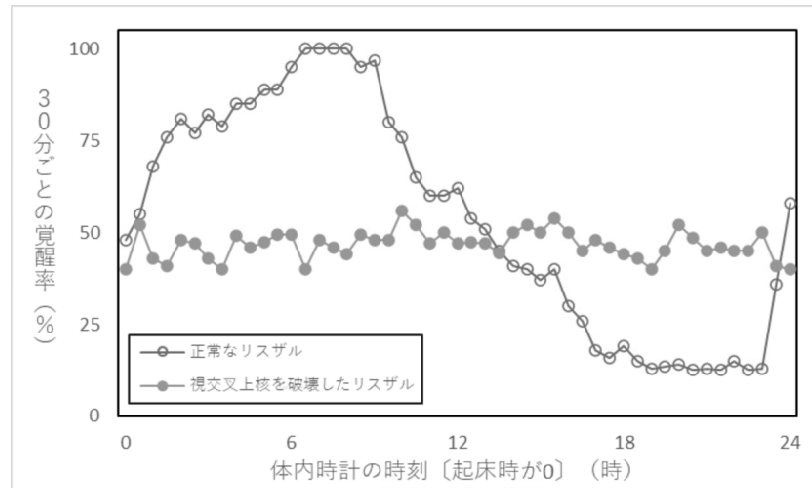
- ア 統御しているように見えるだけで、実影響はほとんどない
- イ 統制したうえで、睡眠時間・覚醒時間を一定に保つ
- ウ 規定するに留まり、反跳睡眠を司るわけではない
- エ 指示するだけで、睡眠現象とは直接関係ない

問三 ——— 線部(1)について、「図1」を示したものとして最も適切なものを、次のア～エから選び、記号で答えよ。

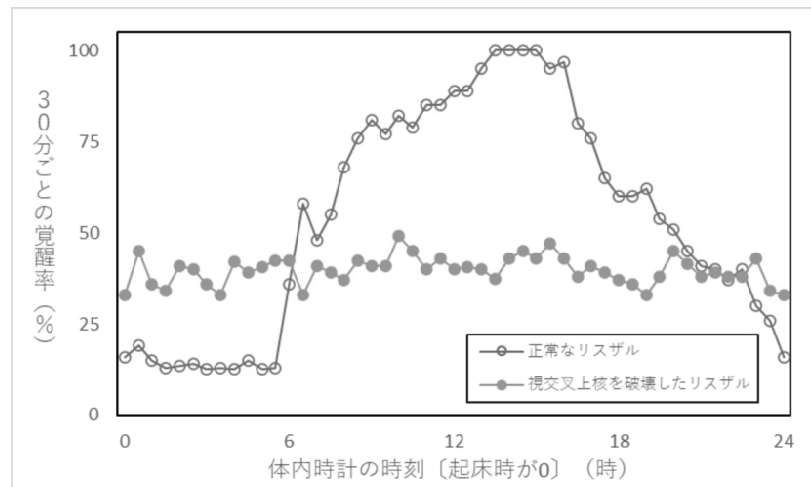
ウ



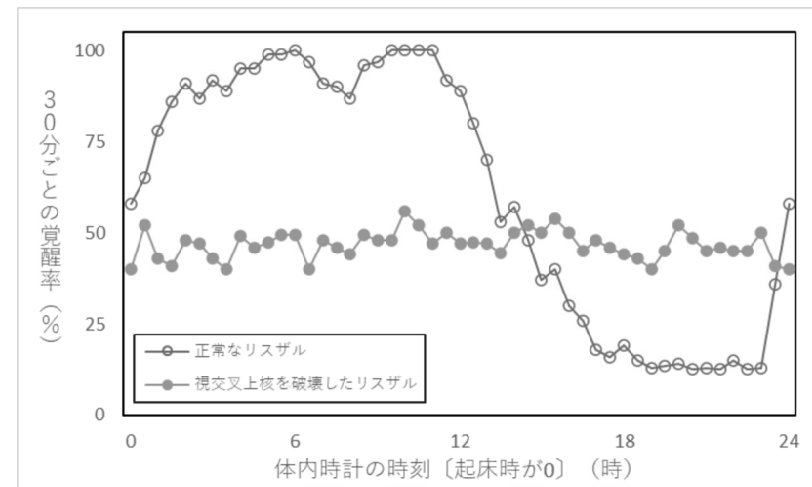
ア



エ



イ



問四 —— 線部(2)について、「このこと」はどのようなことを指すか、六〇字以内で答えよ。

問五 —— 線部(3)について、どうして「マウスやラットなどの夜行性の齧歯類」では研究できないのか、六〇字以内で答えよ。

問六 —— 線部(A)について、郁美さんは、次の枠内の文章を読んで「体内時計の中枢は視交叉上核である」といえる根拠をノートにまとめた。ノートの空欄部分に当てはまる言葉を枠内の文章を参照して答えよ。

脳の視床下部のチツポケな視交叉上核を破壊したとき、行動リズムとホルモンなどの内分泌リズムが消失しました。さらに、脳波の睡眠覚醒リズムが消失していることも確認され、視交叉上核を壊すと、すべての生体リズムが消失することがわかりました。

この結果によって、視交叉上核が生体リズムの形成に必須であることはわかったのですが、その発振を行なっているかどうか、つまり視交叉上核自体が24時間リズムを生み出している部位なのかはわかりません。発振を中継(伝達)しているだけかもしれないのです。あらゆる可能性を想定して証明するのが科学者の仕事です。

そこで、視交叉上核の働きに本当にリズムがあるのかどうかを確認する研究が行なわれました。まず、神経細胞が活動するのに利用できる栄養素は、糖質だけだということに注目します。神経細胞は、脂肪をエネルギー源として活動に利用できませんし、唯一使える糖質も肝細胞のように\*4グリコーゲンとして蓄えることはできません。そのつど\*5グルコースを取り込んで活動します。そして1977年、米国のウィリアム・シュワルツ博士は、脳部位で唯一、視交叉上核においてグルコースの取り込みに昼夜差があることを示しました。視交叉上核の神経細胞の活動に著明な24時間リズムがあるとわかったのです。

(岡村均『時計遺伝子 からだの中の「時間」の正体』より)

〔注〕\*4 グリコーゲン―肝臓・骨格筋に貯蔵され、急激な運動を行う際のエネルギー源。

\*5 グルコース―脳がエネルギーとして利用できる唯一の物質。

## 郁美さんのノート

### ◇前提

グルコース ○神経細胞の活動時に利用できる唯一の栄養素

○

①・二〇字以内

」

### ◇研究の結果

「**②・二十四字(句読点を使わないで解答)**」ことが確認された。

←

視交叉上核の活動には24時間リズムがある

問七 〰 線部(B)「概日リズム」について、郁夫・文海・高志の三人は、本文を読んだ後に「概日リズム」の異常によって起こる病気に関する文章を読み、話し合っている。文章と生徒の対話を読んで後の問いに答えよ。

概日リズムとは、生物の体内にある24時間周期の体内時計のことです。この体内時計の何らかの異常によって起こる病気は、睡眠時間のずれ方によって3種類に分けられます。それは、睡眠相後退症候群、非24時間睡眠覚醒症候群、睡眠相前進症候群です。

通常なら、夜になってしばらくしてから入眠し、夜が明けて少ししてから目覚めます。概日リズム睡眠障害の一つ目、睡眠相後退症候群の症状は、夜に眠れず、朝になってようやく寝るといふものです。二つ目の非24時間睡眠覚醒症候群の症状は、寝る時間も起きる時間も少しずつ後ろにずれてしまうといふもので、三つ目の睡眠相前進症候群は夜になった途端に寝てしまい、深夜の早い時間帯、まだ真っ暗なときに起きてしまうといふものです。いずれも原因はわかっていませんが、非24時間睡眠覚醒症候群と睡眠相前進症候群については遺伝子の影響があるとも考えられています。

(岡村均『時計遺伝子 からだの中の「時間」の正体』より)

郁夫 「概日リズム」の異常によって起こる病気を治療することはできないのでしょうか。

文海 この文章のさらに後ろに「メラトニンというホルモンを薬として投与する方法」が紹介されていました。睡眠相後退症候群と、非24時間睡眠覚醒症候群で寝る時間が遅くなっているときは、夜にメラトニンを投与するとよいそうです。

高志 どうしてメラトニンが有効なのでしょうか。

文海 メラトニンは  からだそうです。

高志 「高照度光療法」という光を浴びさせることで、視交叉上核に「これから活動を始めること」「寝る時間でないこと」を認識させる療法もあります。

郁夫 夜、コンビニの明るい照明が目に入ると元気になるといふのと同じですね。

高志 はい、睡眠相前進症候群の患者さんには  ことで睡眠をコントロールできるらしいです。

①空欄  に当てはまる言葉として最も適切なものを、次のア～エから選び、記号で答えよ。

- ア 昼に多く分泌されるホルモンで覚醒作用がある
- イ 昼に多く分泌されるホルモンで入眠作用がある
- ウ 夜に多く分泌されるホルモンで覚醒作用がある
- エ 夜に多く分泌されるホルモンで入眠作用がある

②空欄  に当てはまる言葉を考えて、十五字以内で答えよ。

〔二〕 次の二つの文章「A」「B」は、どちらも戊辰戦争(慶応四年/明治元年~明治二年)に関係するものである。「A」は備中松山藩(現在の岡山県の一部)の板倉家五万石に仕えた川田甕江による追想、「B」は会津藩(現在の福島県、新潟県、栃木県の一部)の藩士で新撰組の隊士だった過去をもつ山浦鉄四郎と新撰組の幹部永倉新八が戊辰戦争の十年後に箱館で出会い、会話をしている場面である(戊辰戦争では、備中松山藩、会津藩ともに旧幕府軍として明治新政府軍と戦って敗れている)。二つの文章を読んで、後の各問に答えよ。

〔A〕

我らが①旧藩主(\*1勝静)の消息を入手したのは、その年の末であった。

\*2上野の彰義隊や河井継之助殿による北越戦争、奥羽越列藩同盟による東北戦争など、幕府軍の抵抗はことごとく敗れた。いまや残るのは、旧幕臣榎本武揚殿ら幕府残兵の拠る箱館のみという情勢になっていた。

旧藩主はすでに一月\*3世子万之進様に家督を譲られ、日光、会津、仙台などを流浪。九月に万之進様と仙台で別れ別れになったあと、北海道へ渡海、箱館の幕軍に身を投じられていた。

―君公は、箱館で幕府残兵と運命を共にするお覚悟らしい。

これを知って、われらはすぐさま行動に移った。年寄役西郷熊三郎殿が商人に変装して東行。苦勞に苦勞を重ねて箱館入りし、②殿様との面会を果たした。

西洋への逃亡や降伏自訴など、選択肢はいくつかあったが、殿様は実に悽愴たるお心うちの様子で、取りつく③あがなかった。殿様は徳川家に忠誠を尽くされ、④アゲクに\*4見捨てられたのだ。無理もない。

西郷熊三郎殿は、殿様から\*5方谷先生あての書翰を預かり、江戸改め東京に還った。大石隼雄殿がそれを松山に持ち帰った。 I

―多年、別段の教諭に預かったことは忘れ難い。昨春以来の⑤そこもとの心痛のほど、万々察し入る。当今の次第とあいなって、遺憾に堪えない。老年のそこもとは気の毒であるが、家名が成り立つよう、ならびに万之進の進退等について、然るべく尽力指揮致してくるよう頼む。時季別して⑥ジアイされるよう祈る。

といった哀切極まる文面で、宛先は⑦安五郎殿、差出人は⑧松叟となっていた。殿様の\*6号である。

⑨方谷先生が病身を顧みられず、最後のご奉公に全力を傾注されたのは II ⑩を瞞るばかりで、われらもおのこと必死になった。

明けて明治二年(一八六九)五月、われらは殿様を、騙し騙してついに東京にお迎えすることに成功した。拉致する形で、強引に連れ戻したのだ。当然ながら、⑪殿様は激怒された。世が世であれば、打ち首獄門は間違いない。殿様は前の⑫大樹公に見捨てられ、家臣には裏切られた。あのころが、松叟様の一番お辛いときであつたらう。 III

それゆえ、拙者は、その後もずっと松叟様のお世話を怠らなかつた。お亡くなりになつたのちまでも。大して取り柄のない⑬拙者ではあるが、この一事だけは自画自賛させてもらいたい。

さて、大石、西郷両氏に加えて拙者ほかが松叟様の前に伺候し、あれこれ申し上げて、忿り、激し、洩る殿様を説き伏せてついに朝廷へ謝罪自訴されるように引導を渡したのだ。じつに、あの\*7玉島事件と同様、皆が皆、死ぬような思いをした。

八月、旧藩主父子(勝静および\*8勝全)は、\*9出格の寛典をもって死一等を減じられ、上野安中藩(群馬県安中市)への永預(終身禁錮)の身の上となった。松叟様は、ただちに一ツ橋安中藩邸へ身柄を遷され、謹慎された。安中藩は同じ板倉家の支藩ゆえ、われらは安堵した。

続いて、松山藩二万石を支配せしめるゆえ、血脈の者は早々に願い出よとの\*10朝旨があった。すぐさま\*11当代様(勝弼)の名で願い出ると、九月、太政官からお許しがあり、ようやく主家の再興が成った。雄々しくも最後まで戦った会津藩二十三万石が、斗南藩三万石に減封されたことを思えば、\*12傷は浅い方であった。我ら一同は、歓喜してこの報せを迎えた。

後日、松叟様は(1)当代様の誓約書の件は争いの種になるからと焼却をお命じになった。世子万之進様は分資を得て、別に一家を立てられた。

十月、備中松山藩は高梁藩と改められ、十一月、当代様は高梁藩知事に任ぜられた。三島中洲君は板倉家の家令となった。

明治四年七月、廃藩置県となって、われらの抛り所そのものが消えてなくなった。

明治三年十月、方谷先生は、\*12長瀬からご母堂(西谷梶)の生地小阪部に移られ、子弟教育に専念されることになった。拙者が先生にお会いしたのは、明治四年の正月、長瀬においてであった。先生は、正月を長瀬で迎えられた。

拙者は、先生が政の第一線からお退きになったので、東京暮らしを再開していた。先生の明治四年辛(2)ヒツジ元旦詩に、拙者の先生訪問の意図が詠み込まれている。

このときの拙者は、長州の雄木戸孝允の依頼を受けていた。方谷先生を朝廷に起用する話があり、説得役にまたしても拙者が駆り出されたのだ。

賢路開通し 王政新たなり

う 詔を伝え急に人を求む

病鶯 復た遷喬の意無し

幽谷 巢を守りて 空しく春に負く

〔賢人の道が開けた。天皇による新しい政がはじまったのだ。〕

え が天子の詔を伝えて、新政府への出仕を求めてきた。

私は病の身ゆえ、鶯が谷を出て高木に遷るような真似はしない。

幽谷の巢を守って、春にそむいて生きてゆこうと思う。寂寥とした幽谷の春もまた楽しからずやである。〕

(芝豪『天命へ朝敵となるも誠を捨てず』より)

〔注〕\*1 勝静 | 板倉勝静(一八二三〜一八八九)。備中松山藩七代藩主。板倉家が朝廷の敵とされ、備中松山城が無血開城となる中、旧藩主の勝静は行方不明であった。



- \* 2 上野の彰義隊や河井継之助殿による北越戦争、奥羽越列藩同盟による東北戦争 — 上野戦争、北越戦争、東北戦争とも戊辰戦争における戦闘。
- \* 3 世子 — 世継ぎ。跡継ぎ。
- \* 4 見捨てられた — 先の将軍徳川慶喜（たかのぶ）が明治新政府軍に抵抗せず謝罪（きやうじめん）恭順（きやうじめん）したことを指す。
- \* 5 方谷先生 — 山田方谷（一八〇五〜一八七七）。備中松山藩に仕えた儒者・陽明学者で、藩政を改革するとともに、後進の育成にも力を注いだ。語り手の川田甕江は、方谷の弟子ではないが、方谷に強い影響を受けた人物の一人である。
- \* 6 号 — 本名などの他につける名。
- \* 7 玉島事件 — 備中松山藩（くまた）の熊田恰（あたか）が新政府軍の敵と見なされ、滞在していた玉島が戦火の危機に見舞われた際、熊田が切腹して恭順を示すことで部下百数名の命と、玉島の町を戦火から守った事件。
- \* 8 勝全 — 万之進のこと。
- \* 9 出格の寛典 — 破格の寛大な処置。
- \* 10 朝旨 — 朝廷の意向。
- \* 11 当代様 — 板倉家の当代の主人。勝弼が家督を継ぐ際、勝全の相続が認められることになつたら必ず家督を勝全に譲るといふ誓約書を交わした。
- \* 12 長瀬 — 現在の岡山県高梁市内の地名。

## [B]

「鉄四郎、お前、山浦鉄四郎か？」

「4その名で呼ばれることは、もう絶えて久しい。懐かしさが胸を満たしていくのを感じながら、軽く頭を下げる。」

「お久しぶりです、永倉さん」

永倉新八が\*1石碑に手を合わせるのを見届けると、二人で本堂の縁に並んで腰を下ろした。

\*2近藤、土方（ひじかた）と袂（たもと）を分かち、会津を見限って姿を消した男。だが、そんなわだかまりは顔を見るなり霧散している。ともに過ごしたのは、これまでの人生のうちのほんの数年間。それでも、苦楽を分かち合い、生死をともにした仲間だった。

「箱館が落ちてあの戦争が終わってから、もう十年になるのか。お前と最後に会ったのは、確か甲州の負け戦の後だったな」

「はい。北関東でも会津でも、結局顔を合わせることはありませんでした」

\*3鶴ヶ城の降伏前に会津を離れた永倉は米沢に移り、その後はあちこちに潜伏し、明治三年にかつて仕えていた\*4松前藩に帰参した。今は藩医の娘を妻に迎え、小樽（おたる）で暮らしているのだという。一昨年には松本良順（まつもとりょうじゅん）の助けを得て、東京板橋の近藤の処刑地近くに、新撰組の慰霊碑を建てたらしい。

「新撰組の？」

お

京にいた頃から永倉は近藤批判の急先鋒で、隊を離れる際にもかなり激しい口論があったという。

「ああ、まあな」

どこか照れ臭そうに言うのと、⑤永倉は声の調子を落とすし、呟くように言った。

「\*5西軍が会津城下に雪崩れ込んできた直後、俺は坂下村の宿で\*6竹子殿と会った」

「ええ、聞いています」

「すまなかつたな。俺がもつときつく止めておけば、あんなことには」

「よしてください。もう、すんだことです。それに、誰が止めたところで、聞き入れるような人じゃない」

「確かに、そうかもしれない」

遠い記憶を辿るような顔つきで言う。

「あの頃は、誰もがまともじゃなかった。いや、まともではいられなかったと言うべきか」それはそうと、と永倉はこちらに水を向ける。

「お前のほうはどうなんだ。会津の降伏後は、どこでなにをしていた？」

しばしの間、沈黙が下りた。なにかから話せばいいのか思案していると、寺僧が茶を運んできた。永倉も寺の者とは顔見知りらしく、短く言葉を交わしている。

寺僧が去ると、鉄四郎は湯呑みを取り、唇を湿らせた。

「ひどいものでしたよ。他に、言葉が見つからない」

降伏開城後、藩士は各藩にお預けとなり、鉄四郎は斎藤一や萱野権兵衛らとともに\*7越後高田藩で謹慎となった。

会津では、東軍兵士の遺体の埋葬すら禁じられていたという。遺体は、若松城下では路傍に積み上げられ、周辺の山中では野ざらしのまま、獣に喰われるに任された。

薩長への怨念。敗残の惨めさと、すべてを失った虚無感。先が見えない不安。明日には首を刎ねられるかもしれないという恐怖。あらゆる負の感情と向き合い、闘う日々が続いた。

その頃、鉄四郎は周囲の勧めで名を変えた。仮にも新撰組に籍を置いた身だ。恨まれる理由はいくらでもある。姓の蒲生は、山浦家の遠縁で、会津戦争で跡継ぎが戦死して絶えた家だ。名は、\*8自らの手で斬った親友から貰った。

度重なる嘆願によりお家再興が許されたのは、明治二年九月のことだ。十一月には、東京で謹慎中の容保の実子、容大の家名相続と立藩が認められた。だが、与えられた土地は会津ではなく、\*9下北半島とその周辺、わずか三万石の小領だった。

新たな藩名は斗南藩。山川大蔵を指導者とする藩士とその家族およそ一万七千人は、期待を胸に新天地を目指した。故郷を焼かれ、夫や妻子、親兄弟を失い、逆賊の烙印まで押されている。絶望の淵にあった人々の目には、それが針の穴ほどの希望であれ、眩い光に思えたのだ。

だが、斗南の環境は想像を絶するほど過酷なものだった。陸奥湾から吹き付ける風は夏でも凍てつくほど冷たく、土地は痩せていて、どれほど開墾に⑤ハゲんでも作物は育たない。冬には身の丈をはるかに超える雪が積もり、毎年何人もが家ごと雪に押し潰される。ろくに滋養が採れず、菓を買うこともできないため、病に倒れた者はほとんどがそのまま命を落とした。

山川らの必死の訴えで、近隣諸藩からわずかばかりの援助は引き出せたが、政府は見ても見ぬふり続ける。明らかに、薩長の私怨による仕打ちだった。立藩を許すと甘言を弄し、その実は会津藩を丸ごと流罪に処したのだ。

(あまの すみき ぼしんりょうらん  
天野 純希『戊辰繚乱』より)

- 〔注〕
- \* 1 石碑 — 新撰組副長土方歳三ひじかたとしぞうの石碑。土方は戊辰戦争最後の戦場、箱館で戦死した。
  - \* 2 近藤 — 新撰組局長近藤勇いさみ。戊辰戦争で明治新政府軍によって処刑された。
  - \* 3 鶴ヶ城 — 会津藩の城。若松城。戊辰戦争の戦闘の一つである会津戦争の戦地。明治元年九月に降伏開城した。
  - \* 4 松前藩 — 現在の北海道松前町の藩。
  - \* 5 西軍 — 薩摩藩・長州藩・土佐藩を中心とした新政府軍のこと。なお、東軍は旧幕府軍。
  - \* 6 竹子 — 山浦鉄四郎の妻。薙刀なぎなたが得意で西軍相手に奮戦したが、会津戦争で戦死した。
  - \* 7 越後高田藩 — 現在の新潟県上越市の藩。
  - \* 8 自らの手で斬った親友 — 新政府軍に寝返った会津藩士。名は誠一郎。
  - \* 9 下北半島 — 青森県に位置する本州最北端の半島。

問一 — 線部(ア)～(エ)のカタカナを漢字で答えよ。

問二 空欄 **あ** **い** に当てはまる言葉を、それぞれ漢字一字で答えよ。

問三 { 線部(a)～(k) } について、同じ人物を指しているものの組み合わせとして適切なものを、次のア～カから二つ選び、記号で答えよ。

- ア a・b・c・d・f
- イ a・b・c・f・h
- ウ a・b・c・f
- エ e・g・j・k
- オ d・g・i・k
- カ d・e・g・k

問四 空欄 **う** **え** に当てはまる言葉の組み合わせとして最も適切なものを、次のア～エから選び、記号で答えよ。

- ア う…天啓 え…天の導き
- イ う…東風 え…東からの風
- ウ う…恵雨 え…恵みの雨
- エ う…春光 え…春のうらかな光

問五 空欄 **お** に当てはまる言葉として最も適切なものを、次のア～エから選び、記号で答えよ。

- ア いくらか意外な思いがした
- イ 敵しい戦いの日々が思い出された
- ウ 新撰組の懐かしい顔ぶれが目には浮んだ
- エ 永倉の気持ちたちが自然と理解された

問六 本文からは次の一文が抜け落ちている。文章中の **I** ～ **V** のうち、どこに入れるのが最も適切か、記号で答えよ。

**世のながが変わったとはいえ、われらは旧藩主を敵に売ったのだ。**

問七 —— 線部(1)について、「殿様」が「激怒」した理由を五〇字以内で説明せよ。

問八 —— 線部(3)とはどういうことか。最も適切なものを、次のア～エから選び、記号で答えよ。

ア 新政府に出仕することはできないということ。

イ 新時代を牽引する力は持ち合わせていないということ。

ウ 過去の因縁を忘れ、かつて敵だった朝廷に与することはできないということ。

エ 朝廷に仕え、出世することは望まないということ。

問九 —— 線部(4)について、その理由を十五字以内で説明せよ。

問十 —— 線部(5)について、「永倉」がこのようにした理由として最も適切なものを、次のア～エから選び、記号で答えよ。

ア あえて落ち着いた声の調子で亡くなった竹子の話をする事によって、照れ臭さを感じてしまう新撰組の慰霊碑の話から話題を転換しようと考えたから。

イ 妻を亡くした鉄四郎に対して竹子の話をするのは忍びなかったが、誰もがまともでいられなかったことを伝えるためにはやむを得ないと覚悟を決めたから。

ウ 西軍との戦いに向かおうとする竹子を止める機会があったにもかかわらず、止めきれずに戦死させてしまったため、夫である鉄四郎に負い目を感じているから。

エ 慰霊碑の話をつきかけとして竹子の死を止められなかった過去が思い出されて、後悔と鉄四郎への申し訳なさを感じ、鉄四郎から赦しを得たいと考えたから。

問十一 —— 線部(2)について、どうして「傷は浅い」といえるのか。その理由を二つの文章〔A〕〔B〕の内容をふまえて八〇字以内で説明せよ。

**問題は以上です。**

問十一		問十		問八		問七		問四		問二	問一	三		問七		問六		問五		問四		問二	問一	一																							
<div style="border: 1px solid black; height: 100%; width: 100%; background-image: linear-gradient(to right, lightgray 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, lightgray 1px, transparent 1px); background-size: 20px 20px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100%; width: 100%; background-image: linear-gradient(to right, lightgray 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, lightgray 1px, transparent 1px); background-size: 20px 20px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100%; width: 100%; background-image: linear-gradient(to right, lightgray 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, lightgray 1px, transparent 1px); background-size: 20px 20px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100%; width: 100%; background-image: linear-gradient(to right, lightgray 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, lightgray 1px, transparent 1px); background-size: 20px 20px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100%; width: 100%; background-image: linear-gradient(to right, lightgray 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, lightgray 1px, transparent 1px); background-size: 20px 20px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100%; width: 100%; background-image: linear-gradient(to right, lightgray 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, lightgray 1px, transparent 1px); background-size: 20px 20px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100%; width: 100%; background-image: linear-gradient(to right, lightgray 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, lightgray 1px, transparent 1px); background-size: 20px 20px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100%; width: 100%; background-image: linear-gradient(to right, lightgray 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, lightgray 1px, transparent 1px); background-size: 20px 20px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100%; width: 100%; background-image: linear-gradient(to right, lightgray 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, lightgray 1px, transparent 1px); background-size: 20px 20px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100%; width: 100%; background-image: linear-gradient(to right, lightgray 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, lightgray 1px, transparent 1px); background-size: 20px 20px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100%; width: 100%; background-image: linear-gradient(to right, lightgray 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, lightgray 1px, transparent 1px); background-size: 20px 20px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100%; width: 100%; background-image: linear-gradient(to right, lightgray 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, lightgray 1px, transparent 1px); background-size: 20px 20px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100%; width: 100%; background-image: linear-gradient(to right, lightgray 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, lightgray 1px, transparent 1px); background-size: 20px 20px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100%; width: 100%; background-image: linear-gradient(to right, lightgray 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, lightgray 1px, transparent 1px); background-size: 20px 20px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100%; width: 100%; background-image: linear-gradient(to right, lightgray 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, lightgray 1px, transparent 1px); background-size: 20px 20px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100%; width: 100%; background-image: linear-gradient(to right, lightgray 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, lightgray 1px, transparent 1px); background-size: 20px 20px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100%; width: 100%; background-image: linear-gradient(to right, lightgray 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, lightgray 1px, transparent 1px); background-size: 20px 20px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100%; width: 100%; background-image: linear-gradient(to right, lightgray 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, lightgray 1px, transparent 1px); background-size: 20px 20px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100%; width: 100%; background-image: linear-gradient(to right, lightgray 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, lightgray 1px, transparent 1px); background-size: 20px 20px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100%; width: 100%; background-image: linear-gradient(to right, lightgray 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, lightgray 1px, transparent 1px); background-size: 20px 20px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100%; width: 100%; background-image: linear-gradient(to right, lightgray 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, lightgray 1px, transparent 1px); background-size: 20px 20px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100%; width: 100%; background-image: linear-gradient(to right, lightgray 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, lightgray 1px, transparent 1px); background-size: 20px 20px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100%; width: 100%; background-image: linear-gradient(to right, lightgray 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, lightgray 1px, transparent 1px); background-size: 20px 20px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100%; width: 100%; background-image: linear-gradient(to right, lightgray 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, lightgray 1px, transparent 1px); background-size: 20px 20px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100%; width: 100%; background-image: linear-gradient(to right, lightgray 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, lightgray 1px, transparent 1px); background-size: 20px 20px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100%; width: 100%; background-image: linear-gradient(to right, lightgray 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, lightgray 1px, transparent 1px); background-size: 20px 20px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100%; width: 100%; background-image: linear-gradient(to right, lightgray 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, lightgray 1px, transparent 1px); background-size: 20px 20px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100%; width: 100%; background-image: linear-gradient(to right, lightgray 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, lightgray 1px, transparent 1px); background-size: 20px 20px;"></div>																				
																												問九	問五	問三	問六	①	②	①	問三	ア	イ	ウ	エ	①	②	①	問三	ア	イ	ウ	
																												ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ

.....

.....

.....

番受 号験	2024年度 高等学校
氏名	